

セーフコミュニティ通信 第14号



～郡山市は、WHO(世界保健機関)が推奨する「けがや事故の予防活動」に取り組んでいます～

a WHO initiative
セーフコミュニティ郡山
2018.2.2 国際認証取得

交差点は特に注意！

～交通事故多発交差点の現場を確認～

＝交通安全対策委員会＝

平成30年7月31日(火)、「交通事故多発交差点マップ」に掲載している交差点のうち5か所(「若葉町」「郡山駅入口」「若葉町西」「桑野三丁目」「図景二丁目」)の現場を確認しました。現場確認後は、道路の状況や交通量、自動車の速度、自転車の乗り方等気付いた点について意見を交わしました。

交通事故ゼロを目指し、現在、交通事故の状況やマップ作成後の交通事故件数のデータなども踏まえた、より効果的な対策を検討しています。

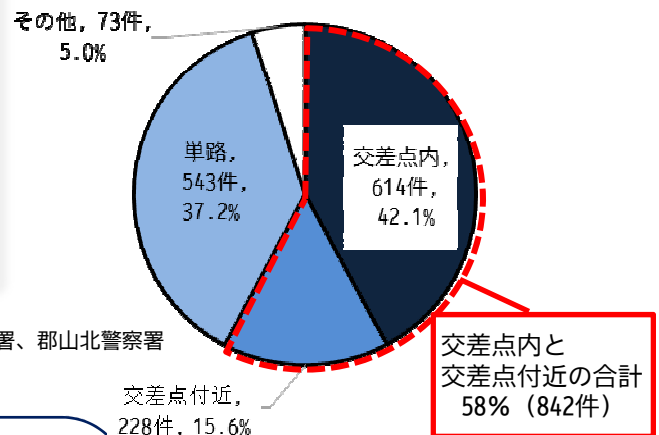
皆さん、交通ルールを守って、交差点では特に注意して交通事故をなくしましょう。



■郡山市内 交通事故多発交差点(1年間で6件以上)

No.	交差点名	事故件数		
		人身事故	物件事故	合計
1	若葉町交差点	3	19	22
2	郡山駅入口交差点	4	14	18
3	若葉町西交差点	1	15	16
4	桑野三丁目交差点	3	12	15
5	図景二丁目交差点	6	5	11

郡山市の道路形状別事故件数
2015年(H27)



出典：
郡山警察署、郡山北警察署

意見

- 横断歩道の白線が見えない箇所がある。
- 追突事故が多いので、路面表示(交差点路面カラー化)が必要ではないか。
- 交差点をかなりのスピードで通る自転車が目立つ。
- 地下道ではなく歩道を利用する人が多い。
地下道の入口を目立たせてはどうか。
- 交差点の手前に「この先信号あり」などの看板等を設置してはどうか。
- 信号が変わる直前、スピードを上げて交差点に入っていく自動車が見られる。



郡山駅入口交差点の現場確認

自殺予防の第一歩は、予防するためにどんなことが必要なのか、多くの人に知ってもらうことです。

自殺予防街頭キャンペーン

今年も9月の自殺対策強化月間に合わせ、
9月10日(月)、朝の通勤・通学時間帯に
実施しました。



福島県理容生活衛生同業組合の皆さんと

自分の心の健康状況、周囲の人の悩みに
気付いてもらうための啓発品等を、学生や働き
世代の方々に配布しました。

自殺を予防するために、みんなでできる支援

●気づき●

家族や仲間の変化に気づいて、声をかける

●傾聴●

本人の気持ちを尊重し、耳を傾ける

●つなぎ●

早めに専門家の相談などにつなげる

●見守り●

様子を見守り、温かく寄り添う

パネル展示

9月8日(土)～17日(月)、イオン郡山
フェスタ店で、自殺予防に関するパネル
展示等を行い、自殺の現状や予防につい
て皆さんに伝えました。



予防に関することや自殺の現状を伝えるパネル



11月は児童虐待防止推進月間です

＝こどもの安全対策委員会＝

11月は「児童虐待防止推進月間」です。

家庭や学校、地域等社会全般で、児童虐待問題に対する深い関心と理解を得られるよう、児童虐待防止のための広報・啓発活動などの取組を実施します。



通告・相談は、
匿名で行うことが
できます。

通告・相談を
した人、その内容
に関する秘密は
守られます。

厚生労働省ホームページ



セーフコミュニティ活動をPR ～平成30年度郡山市総合防災訓練～

＝防災・環境安全対策委員会＝

平成30年9月1日（土）、全市一斉の総合防災訓練が実施され、中央会場の芳賀小学校には約2,000人が参加しました。



総合防災訓練
(中央会場：芳賀小学校)

震度6弱の地震発生を想定し、緊急広報、初期消火、倒壊建物からの救出、小学校全校避難・保護者引渡し、避難所開設、炊き出し等の訓練が行われました。

親子で地震や耐煙を体験したり、ハザードマップ上で自分の家を見つけるなど、家族や地域の皆さんがお互いに協力して、災害対応について学んでいました。

セーフコミュニティ活動をPR



郡山市のセーフコミュニティ活動の取組について、パネルやチラシ等で参加者の皆さんに紹介しました。

私たちが取り組んでいます

●防災・環境安全対策委員会

風水害への備え

日頃からの備え

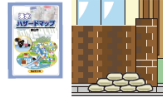
家屋の点検

雨漏りはもちろんのこと、強風によって鉢植え、物干し竿などが飛散しないよう日頃から家屋全体を点検及び整理整頓しておきましょう。



簡易な浸水防止

浸水ハザードマップから浸水地域を把握し、「土のう」「水のう」「止水板」を準備しておきましょう。



非常食料等の確保

避難勧告や避難指示が出された時、ただちに避難できるように、非常備蓄品(最低3日～1週間分)や非常持出品を準備しておきましょう。



日頃からの備えが大切です！（わが家の防災ハンドブックから）

平成30年度第1回委員会を開催

＝外傷サーベイランス委員会＝

平成30年8月20日（月）、外傷サーベイランス委員会を開催しました。

外傷サーベイランス委員会は、地域医療の関係者、関係機関、行政の代表者等で構成しており、専門的な立場から、郡山市の外傷等データの収集・分析や各対策委員会の活動の評価・検証を行っています。

本年度第1回委員会では、郡山市のセーフコミュニティの取組状況、今後のスケジュール等を確認し、第3回郡山市セーフコミュニティ地域診断（※1）の内容について協議しました。



第3回地域診断について協議

市民意識調査にご協力ください

＝推進協議会＝

市民の皆さんのけがや事故の状況、災害や犯罪等への不安などについて調査する郡山市セーフコミュニティ市民意識調査を実施します。

10月上旬、市内4,000世帯（無作為抽出）に皆さんに調査票を発送しますので、届いた方はご協力をお願いします。

なお、これまでの結果等は市ウェブサイトをご覧ください。

郡山市 セーフコミュニティ 資料

検索

※1 セーフコミュニティ地域診断

地域診断は、セーフコミュニティ活動のもととなるけがや事故の状況等のデータ収集・分析で、郡山市では、隔年で実施しています。

人口動態統計や交通白書など国、県、市の統計データのほか、それらの統計等からは把握できないけがや事故、ヒヤリハット経験、市民の皆さんの不安要素等のデータは市民意識調査を実施して収集しています。

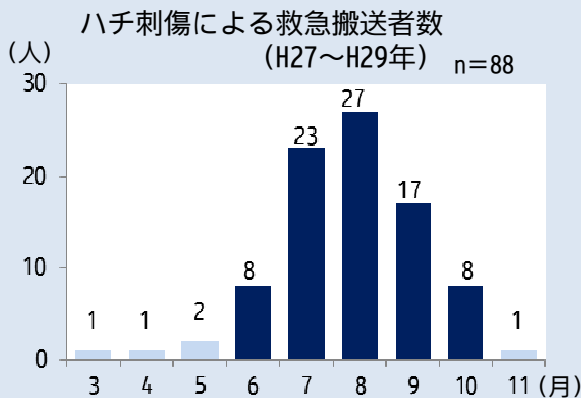




ハチに注意！

＝予防救急＝

郡山市内のハチ刺傷事故の状況



ハチ刺傷による救急搬送は、平成27年～平成29年の3年間で88件あり、約50%が自宅敷地内(畑等を含む)で発生しています。

過去にも刺されたことがあると、アナフィラキシーショック(※2)に陥ることがあり、命にかかわります。

※2 アナフィラキシーショック

アレルギー反応による血圧の低下、意識を失うような状態をいい、すぐに対応しないと生命の危険を伴うこともあります。

ハチの活動時期は春から秋です。スズメバチの攻撃性が一番高まる8月～10月は、特に危険です！



【屋外での作業、野山に出かけるときは…】

- 刺されやすい部分を少なくするため、長袖、長ズボン、帽子を着用しましょう。
- スズメバチは、黒いものにもっとも激しく反応し、攻撃します。白系や淡い色の服装を選びましょう。(ミツバチは、色にはあまり反応しません。)
- 大声や大きな物音、振動はハチを刺激するので注意しましょう。
- ハチは、ヘアスプレー、香水等の化粧品、体臭等に対して敏感に反応します。化粧品等の使用は控えましょう。特にミツバチは、巣からの距離に関係なく各種化粧品の匂いに興奮することがあります。
- ジュース等の残りをエサにしているスズメバチを見かけます。缶の中にもぐりこんだハチに、口や唇を刺されることもありますので注意しましょう。
- 作業前、作業中に大型のハチや複数のハチを見かけたら、巣が近くはないか確認し、巣を見つけたら速やかに退避しましょう。また、大声や大きな動作はハチを刺激するので避けましょう。

郡山地方広域消防組合は、
けがや病気などを予防する「予防救急」に取り組んでいます



《お知らせ》 セーフコミュニティの出前講座 無料です

町内会や地域の会合、ご近所の方の集まりなどの場に職員が出向いてセーフコミュニティについてご説明します。

お気軽にセーフコミュニティ課へご連絡ください。(電話 924-2151)



発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会 / 2018(平成30)年10月

【お問合せ・連絡先】

郡山市市民部セーフコミュニティ課セーフコミュニティ推進室(郡山市役所西庁舎3階)

電話024-924-2151 ファクシミリ024-921-1340

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp



郡山市 セーフコミュニティ

検索

市民意識調査結果、郡山市のけがや事故の状況等のデータなどがダウンロードできます